

令和7年度主要事業の成果

支出科目	款：総務費 項：地域振興費 目：スポーツ推進費	<table><tr><td rowspan="2">取組の方向</td><td>①</td><td>スポーツを活用した地域活性化</td></tr><tr><td>②</td><td>誰もがスポーツに親しむ環境の充実</td></tr></table>	取組の方向	①	スポーツを活用した地域活性化	②	誰もがスポーツに親しむ環境の充実
取組の方向	①			スポーツを活用した地域活性化			
	②		誰もがスポーツに親しむ環境の充実				
担 当 課	スポーツ推進課						
事 業 名	スポーツを活用した地域活性化推進事業（単県）						

目的

スポーツを核とした豊かな地域づくりに向け、スポーツを活用した地域活性化に取り組む。

事業説明

対象者

市町、スポーツ関係団体、県民等

事業内容

(単位：千円)

内 容		当初予算額	最終予算額	予算執行額 [繰越額]
県内各地域 の取組支援	○ 県内市町が取り組む「わがまち ス スポーツ」への支援 ・ アドバイザリーボードによるノウハウ提供や人脈紹介などの人的支援 ・ スポーツを活用した地域活性化に係るスタート時の取組費用の一部に対する財政支援 ≪概要≫ 補助上限額：1市町あたり5,000千円 対象事業：スポーツを活用した地域活性化に資する事業（ソフト事業及びソフト事業に付随するハード事業） 補助率：1/2	23,790	19,925	18,372 [—]
	○ 「わがまち ス スポーツ」の成果継続・定着への支援 ・ スポーツを活用した地域活性化の取組成果の継続・定着に向けての推進体制強化への支援 ≪概要≫ 補助上限額：1市町あたり5,000千円 対象事業：スポーツコミッション設立等の推進体制強化に資する事業（ソフト事業） 補助率：1/2			

県内スポーツの応援環境の充実	○ 地域のスポーツ資源である様々なトップスポーツチームを最大限活用した、県民の関心を高めるためのプロジェクトの展開 ・ 県内スポーツチームと連携したイベント等の実施 ・ 県内スポーツチーム連携強化のための合同研修会の実施 ・ 県内スポーツチームと連携したSNS等による情報発信	22,566	22,566	18,353 [―]
スポーツアクティベーションひろしま (SAH) の組織運営	○ スポーツを活用した地域活性化の推進に向けた、スポーツアクティベーションひろしまの運営	25,806	22,796	20,922 [―]
合 計		72,162	65,287	57,647 [―]

令和7年度の成果目標と実績

○ ワーク目標：

指標名	基準値 (令和5年度)	目標値 (令和7年度)	実績値 (令和7年度)
「わがまち 丸 スポーツ」により目指すべき姿に向け取組を実施している市町数	11 市町	14 市町	13 市町
スポーツを直接観戦した県民の割合	35.6%	50.0%	38.8%

○ 事業目標：

指標名	基準値 (令和5年度)	目標値 (令和7年度)	実績値 (令和7年度)
公式ホームページPV数	165,000	184,000	65,905

令和7年度の目標と実績の乖離要因・課題

- これまで「わがまち~~丸~~スポーツ」による取組を実施してきた市町は、スポーツを活用した地域活性化に向けた事業化へのニーズが比較的高かった。一方で、未実施市町については、地域が抱える課題や目標につながる事業の検討が十分できておらず、事業化には至らなかったことから、「わがまち~~丸~~スポーツ」により目指すべき姿に向け取組を実施している市町数については、目標の達成には至らなかった。
- また、取組実施市町数は毎年増加しているにもかかわらず、県民が「スポーツによって住んでいる地域が盛り上がっていると感じる割合」は 32.7%にとどまるため、今後は、県民が「スポーツによる地域活性化」の効果をより実感できるよう、市町と連携し、事業内容の改善や認知度向上に取り組む必要がある。

- スポーツを直接観戦した県民の割合については、動画配信サービス等による観戦の多様化や人気スポーツチームの成績低迷等による来場者数の減等により、目標の達成には至らなかった。そのため、県民の直接観戦への行動変容を促す取組を図る必要がある。
- 公式ホームページPV数は、コロナ禍の直接観戦が困難な状況で開始した、県内に数多く存在するスポーツチームと連携し、異競技の選手情報やチーム成績などの様々なデータを対戦させ、結果を予想するウェブサイト कोरोना禍後に終了したことにより、目標の達成には至らなかった。

令和8年度取組方向

- 「わがまち~~●~~スポーツ」の取組を未実施の市町に対しては、これまで実施してきた市町の取組の好事例を提供するとともに、これまでのノウハウの提供や学識者等との連携により、効果的な事業の構築を支援することで、事業化への後押しをする。
- 一方で、実施済みの市町の取組については、市町の求めに応じて課題解決に向けた伴走支援に取り組むとともに、PR活動等の支援を行う。
- トップスポーツチームの認知拡大に向け、地域のスポーツ資源である「Team WISH」に参画する県内24のトップスポーツチームを最大限に活用し、チームが連携した合同応援企画等のイベントの開催や合同研修会の実施、SNS等による情報発信などを通じた、県民の関心を高めるプロジェクトを展開する。

令和7年度主要事業の成果

支出科目	款：商工費 項：商業費 目：貿易振興費	領域	産業イノベーション
担当課	県内投資促進課	取組の方向	⑧ 海外展開の促進
事業名	県産品海外販路拡大支援事業（単県）		

目的

海外での広島のお食ブランドの向上により、県産品の輸出拡大並びに、県内企業の海外展開を通じた県内経済の活性化を図る。

事業説明

対象者

県内のかき関連事業者、県内日本酒関連事業者等

事業内容

地域ブランド力のある県産品である「かき」や「日本酒」の海外販路拡大に取り組む。

（単位：千円）

内 容		当初 予算額	最終 予算額	予算 執行額 [繰越額]
県産かきの海外販路拡大	○ アジアでの販路拡大 ・ 新規市場（国・地域）での商流構築に向けた現地での商談会等の実施 ・ これまでに市場開拓した国における輸出継続に向けた県内かき事業者へのフォローや輸入業者へのヒアリング等の実施 ○ EUでの販路拡大 ・ 新たな販路拡大に向けた商談会の実施や展示会への出展 ○ 海外ニーズに応じたかきの輸出に向けた県内かき事業者への情報提供 等	38,645	38,645	32,222 [—]
県産日本酒の海外販路拡大	○ フランスをはじめとしたEUでのブランド化と販路拡大 ・ 現地販売代理人等を活用した小売店や星付きレストラン等への営業活動の実施 ・ 県内酒造会社や現地輸入業者等と連携した展示会への出展などによるプロモーションの実施 等			
合 計		38,645	38,645	32,222 [—]

令和7年度の成果目標と実績

○ ワーク目標：

指 標 名	基準値 (令和5年度)	目標値 (令和7年度)	実績値 (令和7年度)
県産かきの輸出額	19.6億円	12.6億円	【R8.11判明】
県産日本酒の輸出額	4.3億円	4.8億円	【R9.2判明】

○ 事業目標：

指 標 名	基準値 (令和 5 年度)	目標値 (令和 7 年度)	実績値 (令和 7 年度)
【かき】海外市場における新規 商流（輸入業者等）の確保	4 件	4 件	4 件
【かき】ビジネスマッチングの 実施回数	20 回	8 回	25 回
【日本酒】フランスやE Uにお ける販路（小売店や富裕層向け レストラン等）の確保 輸出本数	11,054 本	15,300 本	22,710 本
【日本酒】フランスやE Uにお ける販路（小売店や富裕層向け レストラン等） 富裕層向けレストラン数	6 店舗	8 店舗	13 店舗

令和 7 年度の目標と実績の乖離要因・課題

- 生食用殻付きかきや、冷凍生食用かきにおいては、輸出先の企業から形の揃ったかきや殻が厚く保存性の高いかきのニーズがあることから、これに対応する育成を行う養殖業者等と水槽を保有する現地事業者や冷凍販売のネットワークを持つ業者との商談会やマッチングを実施することで、商流の構築を進めることができた。

今後、販売量を拡大するために、生食用殻付きかきや冷凍生食用かきだけでなく、かき全体の新規商流の構築や、現地事業者、輸出業者とのプロモーション活動を通じて、ブランド価値向上に取り組む必要がある。

- 日本酒について、広島が「吟醸発祥の地」であることや県産日本酒の歴史を伝えた結果、その認知度は高まっているが、まだ販売量は十分とは言えない。県産日本酒のブランド価値向上に向け、広島ならではの風土やストーリー（テロワール）を、商品の強みとして消費者及び取扱事業者にアピールしていく必要がある。

令和 8 年度の方針

- かきについては、県産日本酒と組み合わせて相乗効果を狙いながら、現地での認知度向上のためにプロモーションや商談会の実施によりブランド化を進めることで、アジアやE Uを含めた世界市場への販路拡大を図る。
- 日本酒については、令和 8 年 5 月に IWC2026「S A K E 部門」の審査会を広島で開催したことにより、海外からの注目度も高まっており、この好機を一過性のものに終わらせることがないよう、プロモーションを行うことにより、県産日本酒のブランド価値を高め、販路拡大につなげていく。